

Media Processing Service

ベストプラクティス

製品ドキュメント



Tencent Cloud

Copyright Notice

©2013-2024 Tencent Cloud. All rights reserved.

Copyright in this document is exclusively owned by Tencent Cloud. You must not reproduce, modify, copy or distribute in any way, in whole or in part, the contents of this document without Tencent Cloud's the prior written consent.

Trademark Notice



All trademarks associated with Tencent Cloud and its services are owned by Tencent Cloud Computing (Beijing) Company Limited and its affiliated companies. Trademarks of third parties referred to in this document are owned by their respective proprietors.

Service Statement

This document is intended to provide users with general information about Tencent Cloud's products and services only and does not form part of Tencent Cloud's terms and conditions. Tencent Cloud's products or services are subject to change. Specific products and services and the standards applicable to them are exclusively provided for in Tencent Cloud's applicable terms and conditions.

カタログ：

ベストプラクティス

ビデオタスクコールバックのCOSバックアップ

ビデオタスクコールバック通知

字幕生成及び翻訳

ウォーターマーク除去能力アクセス

ベストプラクティス

ビデオタスクコールバックのCOSバックアップ

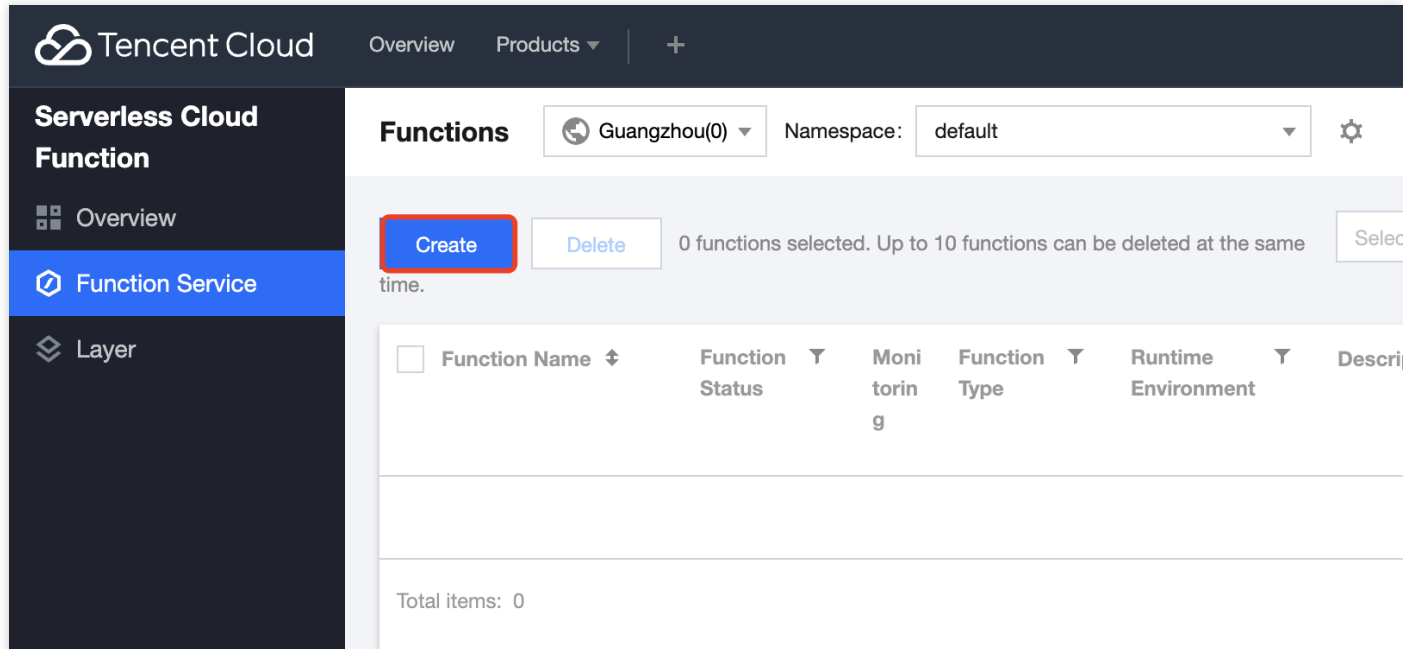
最終更新日：：2022-03-18 18:22:07

Media Processing Service (MPS) を経たあと、MPSに発生したコールバックタスクを、SCFを介してCOSにすみやかにバックアップすることが標準的なスキームです。MPSでは、ユーザーが使用できるように、SCFの中でテンプレートを設定しています。MPSとSCFを使用していますが、このうちMPSは主にビデオ処理タスクに使用し、SCFはコールバックメッセージ処理を提供します。そしてCOSによって主にターミナルに永続的なストレージ機能を提供します。

操作手順

手順1：SCFの作成

1. [SCFコンソール](#)にログインし、左側ナビゲーションバーから**関数サービス**を選択します。



2. 関数サービスのページの上方の北京リージョンを選択し、**新規作成**をクリックして関数の新規作成ページに進みます。
3. 次のパラメータ情報を下図のとおりを設定します。

- **作成方式**：テンプレートの作成を選択します。

- あいまい検索：「CLSメッセージをCOSにダンプ」と入力し、検索を行います。

The screenshot shows the 'Create' page in the Tencent Cloud console. At the top, there is a 'Create Method' section with two options: 'Template' (selected) and 'Custom'. Below this is a 'Fuzzy search' input field containing the text 'mps' and a search icon. The search results are displayed in two columns. The first result is 'MPS_SCF_COS', which is a 'Function' category. Its description is 'The SCF will write each message to txt by each line...'. It has tags for 'Python2.7', 'MPS', and 'COS'. The author is 'Tencent Cloud' and it has been deployed 7,880 times. The second result is 'MPSWebhookD...', also a 'Function' category. Its description is 'Use cloud functions to push MPS information.'. It has tags for 'Nodejs8.9', 'MPS', and 'Webhook'. The author is 'Tencent Cloud' and it has been deployed 7,966 times. At the bottom of the page, there are 'Next' and 'Cancel' buttons.

説明：

テンプレートの中の**詳細の表示**をクリックすると、ポップアップした「テンプレート詳細」のウィンドウに関連情報が表示され、ダウンロードの操作を行うことができます。

4. 次のステップをクリックして、関数設定ページに進みます。

← Create

Basic Configurations

Function name *
It supports 2 to 60 characters, including letters, numbers, underscores and hyphens. It must start with a letter and end with a number or letter.

Region *

Description *
Up to 1000 letters, digits, spaces, commas, and periods.

Function Codes Runtime: Python2.7 Execution Method: index.main_handler

Advanced Configuration ⓘ Function invocation logs are published to the SCF-specific topic of CLS, which will use the free tier of CLS. See [CLS Billing Details](#)

Trigger Configurations

Create a Trigger Custom

5. デフォルトの設定を維持し、完了をクリックしてください。これで関数の作成が完了します。

手順2：MPSトリガーの設定

1. **SCFコンソール****のページで、左側ナビゲーションバーから**関数サービス****を選択し、対応する関数名をクリックすると、この関数の詳細ページに移動します。
 2. **トリガーの管理**>**トリガーの作成**をクリックすると、トリガー作成のウィンドウがポップアップしますので、トリガーの方法に「MPSトリガー」を選択してください。
主要パラメータの情報は次のとおりです。その他の設定項目はデフォルトを維持してください。
- **イベントタイプ**：MPSトリガーはアカウント次元のイベントタイプによってEvent（イベント）をプッシュします。現在はワークフロータスク（WorkflowTask）とビデオ編集タスク（EditMediaTask）の2種類のイベントタイプのトリガーをサポートしています。

説明：

- MPSトリガーの初回作成時には、関連サービスのロールステータスの異常が表示されます。プロンプトにしたがって対応するサービス**SCF_QcsRole**、**MPS_QcsRole**をクリックし、権限を与えてください。

- MPSトリガーはサービス次元で発生するイベントをイベントソースとし、リージョン、リソースなどの属性の区分はありません。各アカウントでは、2種類のイベントに対してそれぞれ関数を1つバインドすることが許されます。複数の関数にてタスクを処理する必要がある場合は、[関数間の呼び出しSDK](#)をご参照ください。

3. サブミットをクリックすると、MPSトリガーの設定が完了します。

手順3：関数機能のテスト

1. [MPSコンソール](#)にてMPSのビデオ処理ワークフローを実行します。

2. [SCFコンソール](#)**に切り替え、実行結果を表示します。

関数の詳細ページでログのクエリー**のタグを選択すると、出力されたログ情報を見ることができます。下図のとおりです。

3. [COSコンソール](#)に切り替え、データのダンプおよび加工結果を表示します。

説明：

自身のニーズに基づき、具体的なデータの加工処理方法を編集することができます。

ビデオタスクコールバック通知

最終更新日：：2021-06-23 20:30:34

Media Processing Service (MPS) を経た後、ビデオタスクコールバック通知を完了するのが標準的なスキームです。MPSでは、ユーザーが使用できるように、Serverless Cloud Function (SCF) の中でテンプレートを設定しています。

操作シナリオ

このドキュメントの例では、Media Processing Service (MPS) およびServerless Cloud Function (SCF) を使用します。このうち、MPSは主にビデオ処理のタスクに使用し、SCFは主にコールバックメッセージの処理を提供します。

操作手順

手順1：SCFの作成

1. [SCFコンソール](#)にログインし、左側ナビゲーションバーから【[関数サービス](#)】を選択します。

2. 関数サービスのページの上方の[北京](#)リージョンを選択し、【[新規作成](#)】をクリックして関数の新規作成ページに入ります。
3. 次のパラメータ情報を下図のとおりを設定します。
 - **関数名**：名称はカスタマイズ可能です。ここでは、例として「MPSAnalysis」とします。
 - **実行環境**：タスクコールバックテンプレートは現在Nodejs 8.9のみをサポートしています。
 - **作成方式**：テンプレートの関数を選択します。
 - **あいまい検索**：「MPS Webhookテンプレート」と入力し、検索を行います。

説明：

テンプレートの中の【[詳細の表示](#)】をクリックすると、ポップアップした「[テンプレート詳細](#)」のウィンドウに関連情報が表示され、ダウンロードの操作を行うことができます。

4. 【[次のステップ](#)】をクリックして、関数設定ページに進みます。

5. デフォルトの設定を維持し、【[完了](#)】をクリックしてください。これで関数の作成が完了します。

手順2：MPSトリガーの設定

1. **【SCFコンソール】** のページで、左側ナビゲーションバーから **【関数サービス】** を選択し、対応する関数名をクリックすると、この関数の詳細ページに移動します。
2. **【トリガーの管理】** > **【トリガーの作成】** をクリックすると、トリガー作成のウィンドウがポップアップしますので、トリガーの方法に「**MPSトリガー**」を選択してください。

主要パラメータの情報は次のとおりです。その他の設定項目はデフォルトを維持してください。

- **イベントタイプ**：MPSトリガーはアカウント次元のイベントタイプによってEvent（イベント）をプッシュします。現在はワークフロータスク（WorkflowTask）とビデオ編集タスク（EditMediaTask）の2種類のイベントタイプのトリガーをサポートしています。

>?

>- MPSトリガーの初回作成時には、関連サービスのロール状態の異常が表示されます。プロンプトにしたがって対応するサービス **【SCF_QcsRole】**、**【MPS_QcsRole】** をクリックし、権限を与えてください。

>- MPSトリガーはサービス次元で発生するイベントをイベントソースとし、リージョン、リソースなどの属性の区分はありません。各アカウントでは、2種類のイベントに対してそれぞれ関数を1つバインドすることが許されます。複数の関数にてタスクを処理する必要がある場合は、[関数間の呼び出しSDK] (<https://intl.cloud.tencent.com/zh/document/product/583/32747>) をご参照ください。

3. **【サブミット】** をクリックすると、MPSトリガーの設定が完了します。

手順3：関数機能のテスト

1. **MPSコンソール** にログインし、MPSワークフローを実行します。
2. **【SCFコンソール】** に切り替え、実行結果を表示します。
関数の詳細ページで **【ログのクエリー】** のタグを選択すると、出力されたログ情報を見ることができます。下図のとおりです。
3. **COSコンソール** に切り替え、データのダンプおよび加工結果を表示します。

説明：

自身のニーズに基づき、具体的なデータの加工処理方法を編集することができます。

字幕生成及び翻訳

最終更新日：2024-01-02 16:39:08

シーン1：オフラインファイルの処理

一、ゼロコードの自動生成

1. メディア処理コンソールにログインして [編成を作成](#)、音声認識や音声翻訳機能を「コンテンツ理解」の編成ノードに挿入できます。



クリックして、実際のビジネスシナリオに応じてシステムのプリセットテンプレートを選択してください。

The screenshot displays the 'Create scheme' interface in the Tencent Cloud Media Processing Service console. The left sidebar shows the navigation menu with 'Schemes' selected. The main content area includes the following fields and options:

- Trigger type:** Radio buttons for 'Tencent Cloud COS' (selected) and 'AWS'.
- Scheme name:** Text input field containing 'subtitle'.
- Trigger bucket:** Two dropdown menus for 'Select region' and 'Select Bucket'.
- Trigger directory:** Text input field.
- Output bucket:** Dropdown menu for 'Select Bucket'.
- Output Directory:** Text input field.
- Enable event notifications:** Toggle switch (currently off).
- Actions:** A workflow diagram showing a sequence of three nodes: 'Input' (with a play button icon), 'Content disc' (with a document icon), and 'Output' (with a play button icon).

At the bottom of the configuration area, there are 'Create' and 'Cancel' buttons.

Content discovery

Content discovery template

Template Type

 Content Analysis Content recognition

Content discovery template

10103-ChineseTo Chinese-Englis

[Select](#)[Save](#)[Cancel](#)

システムのプリセットテンプレート及び機能は以下の通りです。

テンプレートID	テンプレート機能
10101	中国語認識テンプレート
10102	英語認識テンプレート
10103	中国語→中国語・英語翻訳テンプレート
10104	英語→中国語・英語翻訳テンプレート

説明：

その他のテンプレートが必要な場合は、[チケットを提出して](#) ポートスタッフに設定させていただきます。

2. 編成を適用し（トリガーのために有効になってから5分後にファイルのアップロードが必要）、編成トリガーカタログにファイルをアップロードしてください。

Media Processing Service

- Overview
- Tasks
- Usage Statistics
- Workflows
 - Schemes
- Buckets**
- Templates

Buckets

Source buckets Output bucket

Source buckets / chenhui01-1306038592 /

Upload New folder

File name ↓

- 2021-08-05/
- 2021-08-25/

3. タスクが処理された後、編成出力カタログにVTT字幕ファイルが自動的に生成されます。

Media Processing Service

- Overview
- Tasks
- Usage Statistics
- Workflows
 - Schemes
- Buckets**
- Templates
 - Audio/Video Transcoding
 - Watermark

Buckets

Source buckets **Output bucket**

Output bucket / paddyuan-1306038592 / output /

Upload New folder

File name ↓

- 3469908316.vtt

Total items: 1

英語字幕サンプル：

```
1 WEBVTT
2
3 00:01.740 --> 00:02.700
4 MO.
5
6 00:12.890 --> 00:17.329
7 One day in eighteen nineteen three thousand miles off the coast of Chile,
8
9 00:17.329 --> 00:20.180
10 in one of the most remote regions of the Pacific ocean,
11
12 00:20.180 --> 00:24.350
13 twenty American sailors watched their ship flood with seawater.
14
15 00:24.920 --> 00:26.360
16 They've been struck by a sperm whale,
17
18 00:26.360 --> 00:28.790
19 which had brought a catastrophic hole in the ship's hull.
20
21 00:29.809 --> 00:31.849
22 As their ship began to sink beneath the swells,
23
24 00:31.849 --> 00:35.599
25 the men huddled together in three small whale boats.
26
27 00:36.180 --> 00:36.779
28 These men were 10,
29
30 00:36.779 --> 00:38.310
31 000 miles from home,
32
33 00:38.310 --> 00:41.250
34 more than a thousand miles from the nearest graph of land.
35
36 00:42.360 --> 00:43.170
37 In their small boats,
38
39 00:43.170 --> 00:48.120
40 they carried only rudimentary navigational equipment and limited supplies of food and water.
```

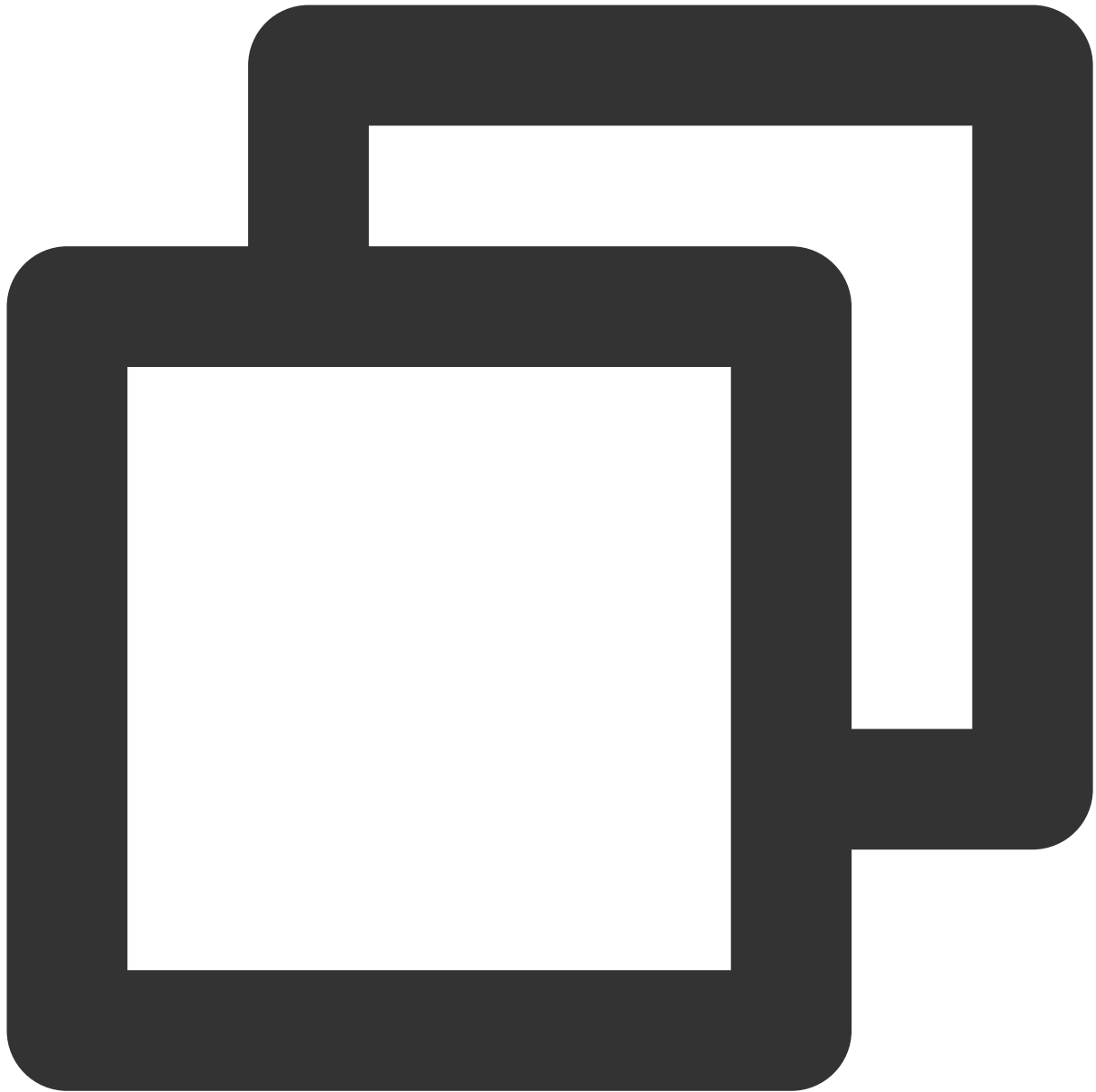
中国語・英語字幕サンプル：

```
1 WEBVTT
2
3 00:00.000 --> 00:23.795
4 中国共产党第19次全国代表大会主席团22日晚和23号上午在人民大会堂举行第三次和第四次会。通过19届中央委员会
5 The presidium of Communist Party of China's 19th National Congress held its third and fourth meetings in
6
7 00:25.110 --> 00:27.165
8 习近平同志主持会议。
9 Comrade Xi Jinping presided over the meeting.
10
11 00:28.549 --> 00:43.720
12 会议通过了经各代表团差额预选产生的19届中央委员会委员、候补委员和中央纪律检查委员会委员候选人名单草案。决
13 The meeting adopted the draft list of candidates for members of the 19th CPC Central Committee, alternat
14
15 00:45.630 --> 01:04.694
16 据了解，从10月21号开始，各代表团对18届中央政治局提出并经大会主席团通过的19届中央委员会委员、候补委员和中
17 It is understood that since October 21, delegations have seriously deliberated the preliminary list of c
18
19 01:05.989 --> 01:30.449
20 代表们认为，这个名单是经过严密的组织程序，充分发扬党内民主产生的，集中了各地区、各部门、各条战线、各个行
21 The deputies believe that this list has gone through strict organizational procedures, fully developed in
22
23 01:31.910 --> 02:02.200
24 10月22号下午和23号上午，大会举行各代表团全体会议，先后对中央委员、中央纪委委员和候补中央委员进行了预选。
25 On the afternoon of 22 October and the morning of 23 October, the Congress held plenary meetings of vari
26
27 02:02.360 --> 02:23.455
28 进行预选，结果合法有效。根据大会选举办法规定和日程安排，23号下午大会举行各代表团分组会议，酝酿主席团第三
29 Carry on the pre-selection, the result is legal and valid. In accordance with the provisions of the elec
30
31 02:24.339 --> 02:28.360
32 24号上午，大会将举行正式选举。
33 On the morning of the 24th, the Congress will hold a formal election.
```

二、APIインターフェイスコール

1. + 編成IDを入力してタスクを開始します。 [インターフェイスの情報を見る](#)。

サンプル：



```
{
  "InputInfo": {
    "Type": "COS",
    "CosInputInfo": {
      "Bucket": "facedetectioncos-1251132611",
      "Region": "ap-guangzhou",
      "Object": "/video/123.mp4"
    }
  },
  "ScheduleId": 20073,
  "Action": "ProcessMedia",
```

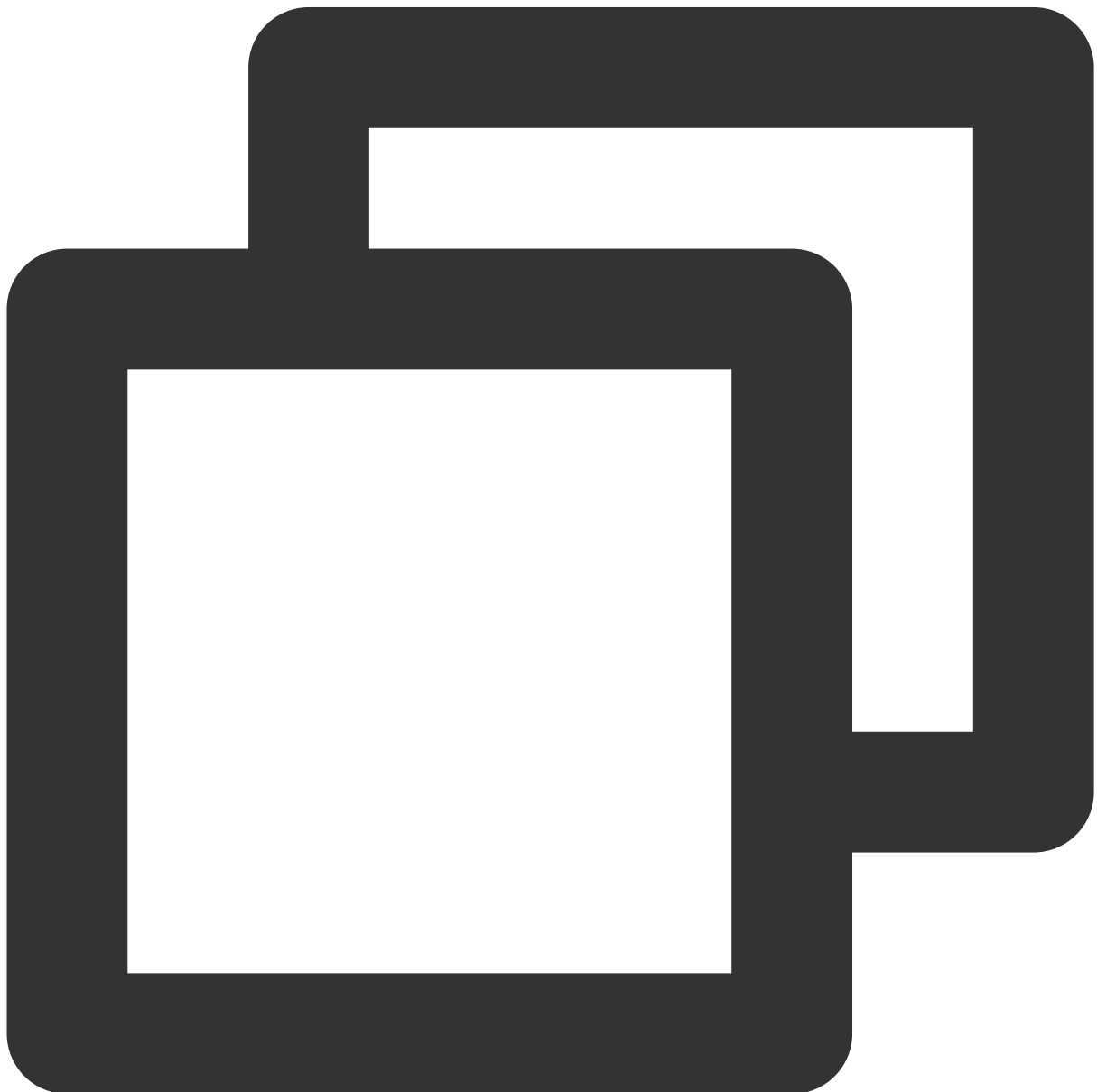
```
"Version": "2019-06-12"  
}
```

2. コールバックアドレスが設定されている場合、レスポンスポディーについては[解析イベントの通知](#)を参照してください。

三、動画へエンコードする（オプション）

[トランスコードタスクを開始](#)、SubtitleTemplateフィールドを通じて、ステップ1またはステップ2で生成されたvtt字幕ファイルを指定してください。詳細は [データ構造の説明](#) を参照してください。

サンプル：




```
{
  "MediaProcessTask": {
    "TranscodeTaskSet": [
      {
        "Definition": 206390,
        "OverrideParameter": {
          "Container": "mp4",
          "RemoveVideo": 0,
          "RemoveAudio": 0,
          "VideoTemplate": {
            "Codec": "libx264",
            "Fps": 30,
            "Bitrate": 2346,
            "ResolutionAdaptive": "close",
            "Width": 1920,
            "Height": 0,
            "Gop": 0,
            "FillType": "black"
          },
          "AudioTemplate": {
            "Codec": "libmp3lame",
            "Bitrate": 0,
            "SampleRate": 32000,
            "AudioChannel": 2
          },
          "SubtitleTemplate": {
            "Path": "https://lily-1256342427.cos.ap-nanjing.myq",
            "StreamIndex": 2,
            "FontType": "simkai.ttf",
            "FontSize": "10px",
            "FontColor": "0xFFFFFFFF",
            "FontAlpha": 0.9
          }
        }
      }
    ]
  },
  "InputInfo": {
    "Type": "URL",
    "UrlInputInfo": {
      "Url": "https://lily-1256342427.cos.ap-nanjing.myqcloud.com/mps"
    }
  },
  "OutputStorage": {
    "Type": "COS",
    "CosOutputStorage": {
      "Bucket": "lily-1256342427",

```

```
        "Region": "ap-nanjing"
      }
    },
    "OutputDir": "/mps_autotest/output2/",
    "Action": "ProcessMedia",
    "Version": "2019-06-12"
  }
```

シーン2：ライブストリーム

シーン2：ライブストリーム

1. APIタスク開始：字幕のプリセットテンプレートを使用して認識タスクを開始します。 [ライブストリーム処理の開始](#)を参考してください。

サンプル：



```
{
  "Url": "http://5000-wenzhen.liveplay.myqcloud.com/live/123.flv",
  "AiRecognitionTask": {
    "Definition": 10101
  },
  "OutputStorage": {
    "CosOutputStorage": {
      "Bucket": "6c0f30dfvodgzp251000800-10022853",
      "Region": "ap-guangzhou-2"
    },
    "Type": "COS"
  }
}
```

```
    },
    "OutputDir": "/6c0f30dfvodgzp251000800/0d1409d34565514956657373652/",
    "TaskNotifyConfig": {
      "NotifyType": "URL",
      "NotifyUrl": "http://xxxx.qq.com/callback/qtatest/?token=xxxxxxx"
    },
    "Action": "ProcessLiveStream",
    "Version": "2019-06-12"
  }
}
```

2. バックボデーについては：[ライブストリーム処理結果の解析](#)を参照してください。

二、ストリームにエンコードする

1. [クラウドライブ](#) と [メディア処理](#) を有効にしてください。
2. [チケットを提出して](#) サポートスタッフにクラウドライブの字幕機能を有効にしてもらいます。
3. 既存のプッシュストリームとプルストリームのロジックは変わらず、元のプルストリームアドレスに言語のサフィックスを追加するだけで、字幕付きのストリームを取得して配信することができます。

例えばプッシュストリームのストリームID：5000_test

通常ストリーム（字幕なし）

http://5000.liveplay.myqcloud.com/live/5000_test.flv

中国語→中国語字幕

http://5000.liveplay.myqcloud.com/live/5000_test_chs2chs.flv

中国語→中国語・英語字幕

http://5000.liveplay.myqcloud.com/live/5000_test_chs2chseng.flv

中国語→英語字幕

http://5000.liveplay.myqcloud.com/live/5000_test_chs2eng.flv

英語→英語字幕

http://5000.liveplay.myqcloud.com/live/5000_test_eng2eng.flv

英語→中国語・英語字幕

http://5000.liveplay.myqcloud.com/live/5000_test_eng2chseng.flv

その他の言語は [チケットを提出して](#) サポートスタッフに設定させていただきます。

ウォーターマーク除去能力アクセス

最終更新日：2024-01-05 15:16:05

よくあるご質問

どのようなウォーターマークがサポートされていますか。

このサービスは、AIによってウォーターマークを識別してから除去します。現在、10種類以上のウォーターマークの識別・除去をサポートしています。サポート対象外のウォーターマークについては、カスタムトレーニングサービスも提供していますが、別途モデルトレーニング料金が発生します。

ウォーターマークが入っていない動画は有料になりますか。

はい、有料になります。動画にウォーターマークが入ってなくても、サービスでは分析・認識が正常に行われるため、コンピューティングリソースが消費されます。

ライブ配信はサポートされていますか。

現在、外部向けインターフェースは、オンデマンドファイルのみをサポートしていますが、ライブストリーム処理のニーズがある場合は、開発者にお問い合わせください。

テンプレート作成

1. [メディア処理コンソール](#)にアクセスし、**[テンプレート管理](#) > [コンテンツ理解テンプレート](#) > [コンテンツ分析テンプレート](#) > [コンテンツ分析テンプレートの作成](#)**を順にクリックします。
2. 「[コンテンツ分析テンプレートの作成](#)」画面で、[テンプレート名](#)を入力し、[スマートラベル設定](#)を有効にして、[作成](#)をクリックします。

[←](#) **Create template**

Template name

Support Chinese characters, letters, digits, underscores, hyphens, and dots, with a length of up to 64 characters

Content Analysis Items

Intelligent labeling	<input checked="" type="checkbox"/>
Intelligent categorization	<input checked="" type="checkbox"/>
Intelligent thumbnail generation	<input checked="" type="checkbox"/>
Frame-specific labeling	<input checked="" type="checkbox"/>
Video segmentation	<input checked="" type="checkbox"/>
Highlights	<input checked="" type="checkbox"/>
Opening/Closing segments	<input checked="" type="checkbox"/>

3. **テンプレートID**をテンセントのクラウドメディア処理の開発者に同期し、開発者は設定してウォーターマーク除去機能を有効にします。

Content discovery template

Content Analysis Template Content Recognition Template

Create template

Template name/ID	Content Analysis Items	Creation time	Update Time
test 51577	Intelligent categorization、Intelligent I...	2023-12-14 15:33:54	2023-12-14 15:33:54
22		2023-12-06 20:24:23	2023-12-07 10:31:12
20	Intelligent categorization、Intelligent I...	2017-01-01 00:00:00	2021-01-18 11:20:44
10	Intelligent categorization、Intelligent I...	2017-01-01 00:00:00	2021-01-18 11:20:44

Total items: 4

タスク処理

方法一：オーケストレーションアクセス(ゼロコード)

1. オーケストレーションの作成

1.1 コンソールの [オンデマンドサービスオーケストレーション] にアクセスし、 [オンデマンドサービスオーケストレーションの作成] をクリックし、「トリガー位置」、「出力位置」を設定して、「タスク設定」で「コンテンツ理解」ノードを選択して追加します。

← Create scheme

Trigger type Tencent Cloud COS AWS

Scheme name
Max 128 characters; supports Chinese characters, letters, digits, underscores, and hyphens.

Trigger bucket

Trigger directory
Starts and ends with "/". If you leave this empty, the scheme will be applied to all directories of the bucket.

Output bucket

Output Directory
Must start and end with a slash (/). If you do not specify this, the output directory will be the same as the trigger directory.

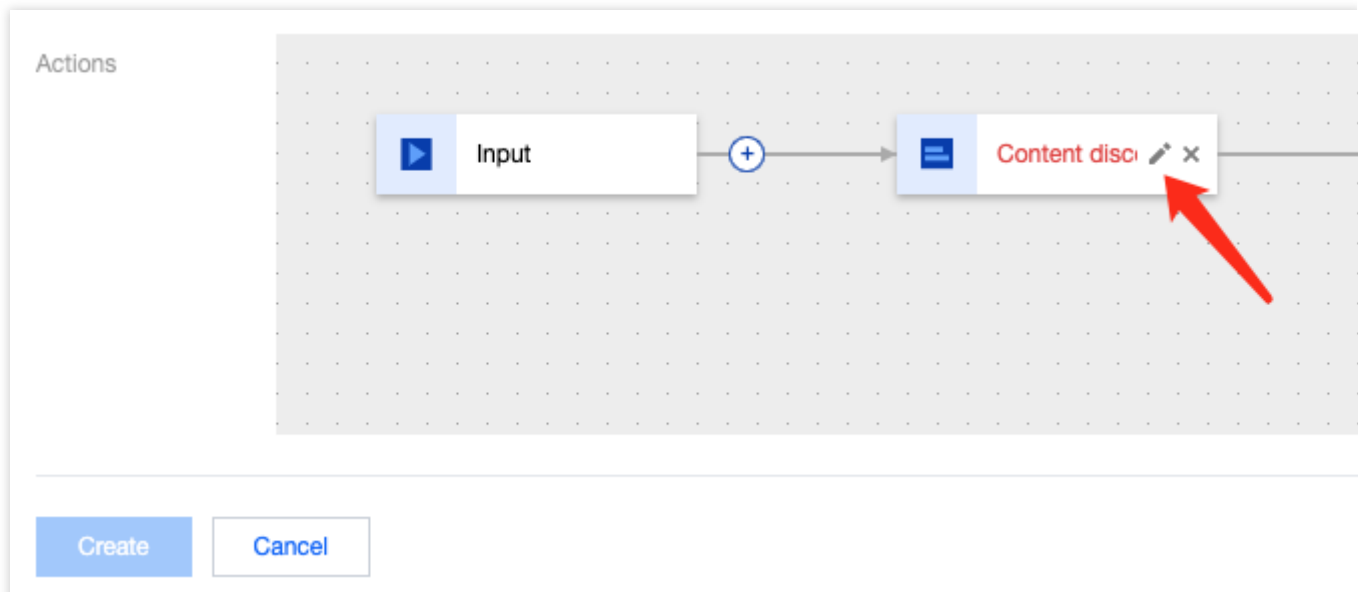
Enable event notifications

Off-peak transcoding
Currently, off-peak transcoding is only supported for audio/video transcoding actions. More will be supported in the future.

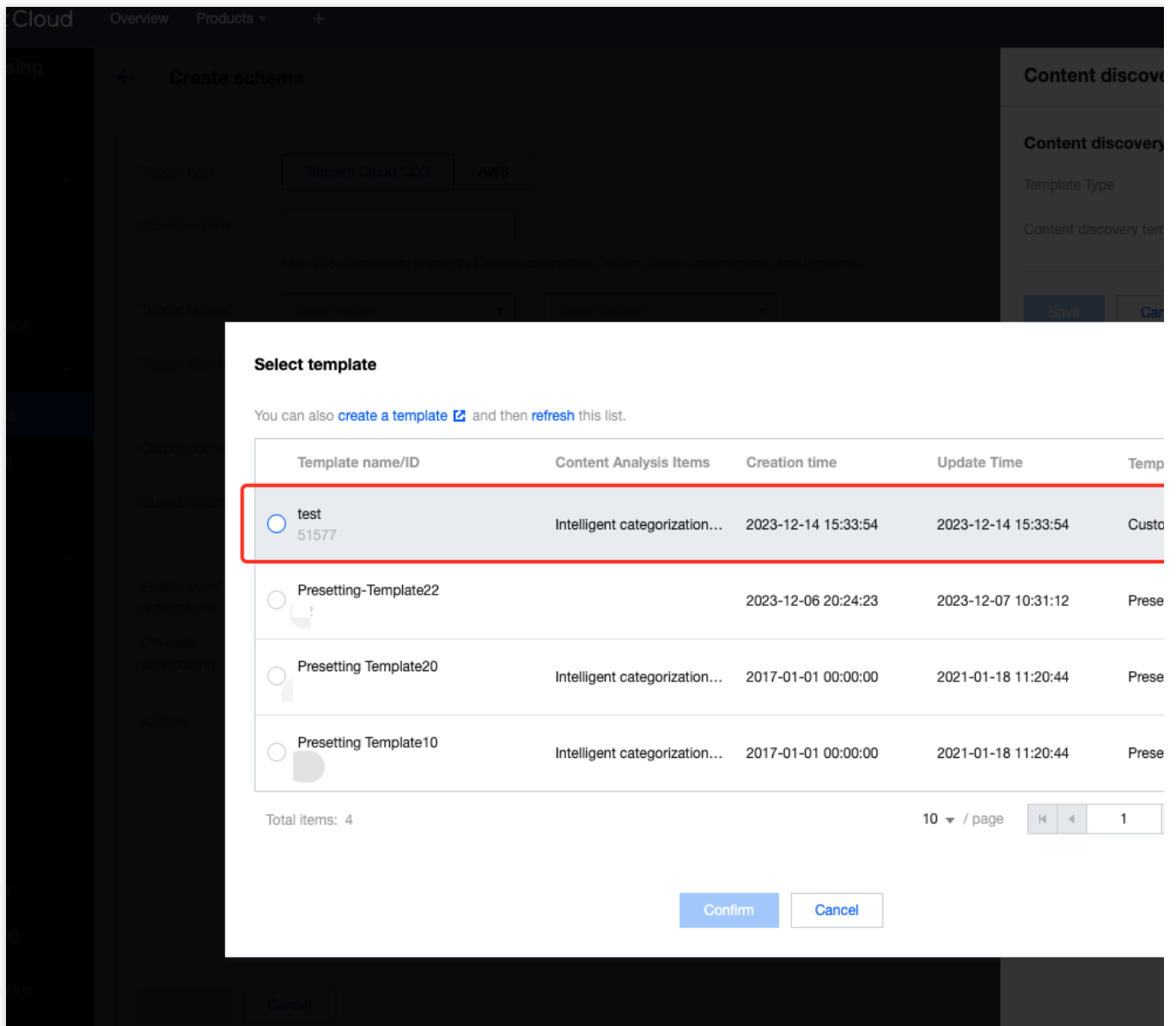
Actions

```
graph LR; Input[Input] --> Output[Output];
```

1.2 「コンテンツ理解」ノードの編集。



1.3 テンプレートタイプとして**コンテンツ分析**を選択し、コンテンツ理解テンプレートで**選択**をクリックします。ポップアップされたテンプレートボックスで**テンプレート作成**時のコンテンツ分析テンプレート名を選択し、**[OK]**をクリックし、最後に**[保存]**をクリックして、設定を完了します。



1.4 [作成] をクリックしてオーケストレーションの作成を完了します。

2. オーケストレーションの有効化

[オンデマンドサービスオーケストレーション管理](#)リストで、新しく作成されたしたオーケストレーションを選択し、[有効にする]ボタンをクリックします。

VOD schemes

Create VOD scheme

Scheme name/ID	Scheme type	Trigger bucket	Trigger directory	Creation time
10101	Preset	-	-	2023-08-04 03:
-	Preset	-	-	2023-08-04 03:

Total items: 2

注：

サービスオーケストレーションを有効にした後、有効になるまでに3～5分かかります。

3. タスクトリガー

サービスオーケストレーションを有効にした後、5分間お待ちください。次に、ウォーターマークを除去しようとする元動画を、先ほど設定した**トリガー位置**に対応するディレクトリにアップロードすると、ウォーターマーク除去タスクが自動的に開始されます。

4. タスク照会

コンソールの[オンデマンドタスク管理](#)に戻ると、タスクリストに最近のタスクが表示されます。タスクが多すぎる場合は、**タスクタイプ**で**コンテンツ理解**を選択することで絞り込むことができます。

5. 結果動画

[ステップ4](#)のタスクが正常に完了すると、ウォーターマークが除去された結果動画が、[ステップ1](#)のオーケストレーション作成時に設定された出力場所に保存され、COSの対応する場所に直接移動して、結果動画を直接確認することができます。

方法二：APIアクセス

1. タスク開始

テンプレートを設定した後、[メディア処理インターフェース](#)を呼び出し、**AiAnalysisTask** タスクを選択して、その**Definition**をこの**テンプレートID**に設定し、タスクを開始します。

AiAnalysisTaskInput

AI video intelligent analysis input parameter types

Used by actions: CreateSchedule, CreateWorkflow, DescribeTaskDetail, DescribeWorkflows, ModifySchedule, ParseProcessMedia, ResetWorkflow.

Name	Type	Required	Description
Definition	Integer	Yes	Video content analysis template ID.
ExtendedParameter	String	No	An extended parameter, whose value is a stringified JSON. Note: This parameter is for customers with special requirements offline. Note: This field may return null, indicating that no valid values

2. タスク照会

前のステップで返された **TaskId** で [タスク詳細参照](#) インターフェースを呼び出し、タスクの処理結果を照会します。

3. タスクコールバック

タスク開始インターフェースの場合は、**TaskNotifyConfig** パラメータを使用してコールバック情報を設定できます。タスクの処理が完了すると、設定されたコールバック情報を使用してタスクの結果がコールバックされます。